

沖縄発

金融イノベーション

金融専門家会議に向けて

□2□

環境問題と聞くと何を思い浮かべるでしょうか。世界の科学者の間で、いま最も危険かつ最優先課題とされている環境問題は、実は気候変動の問題です。

昨年、北アメリカで観測史上類を見ないハリケーン・カトリナが猛威を振る



瀧澤 信 (サトウ・タケノブ)

投資行動で環境に寄与

エコバリューアップ・ファンドの挑戦

い、同時多発テロの十倍に当たる約十五兆円の被害を

これらは主な原因として、海水温が例年よりも高いことが挙げられています。理由は単純で、海水温が上昇することにより低気圧が海上を通過する際に水蒸気がより多く供給されその威力を増加させるのです。

うだ、というのが科学者ら的一致した意見なのです。さて、なぜ金融専門家会議に環境問題の話なのでしようか。実は、投資行動の中から、この環境問題解決に大きく寄与することができるといふことを知っていますか。

私はたちが着目するのは株は当然の権利でもあり、また義務でもあります。私たちは、このような立場から投資対象企業に対し、地球温暖化対策をどう優先的にとらえていくべきか、また、それをテコにどのように企業価値を向上し競争力を高めるか、ということ積極的に提案し、対

象企業の経営者と議論を重ねていくことで新しいバリューをつくり出すことを前提とした投資行動をとっていきます。企業にとっては環境対策戦略が企業価値向上に結び付き、また社会にとってはCO₂の6割を排出する企業の排出量削減に広く結び付いていくような「WIN-WIN」(両者に有利な)の関係を目指します。私たちは、この「エコバリューアップ・ファンド」を、日本で唯一の金融特区である名護で立ち上げる計画です。私たちが目指す社会貢献を前提とした投資ファンドは、県や市が公的に支援する金融特区の趣旨にぴったり合致するのではないかと考えたからです。日本ではまだ誰も踏み入れたことのないエコバリューアップ投資という新しい投資行動への挑戦を、ぜひ地元と一緒に成功させていきたいと思っています。

出しました。日本では、このほかにも海水温上昇が招く異常気象がこの二、三年で急増しています。その経済的被害は甚大です。そして、これまで遠い将来の事と考

えられてきた地球温暖化の影響がいよいよ出始めたように

式投資家の発言行動です。英語では「ステークホルダー・アクティビズム」と言

います。商法にもあるように、株主は企業のオーナーの立場であり、株主として投資企業に対し発言するの

い